



東北大学



平成28年8月22日

東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター  
キーサイト・テクノロジー合同会社

東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター（CIES）とキーサイト・テクノロジーの共同研究「高性能不揮発性メモリとその評価・製造装置の開発、及び国際産学連携集積エレクトロニクス研究開発拠点の構築」が、第14回産学官連携功労者表彰において内閣総理大臣賞を受賞

東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター（センター長：遠藤哲郎 以下 CIES）とキーサイト・テクノロジー合同会社（職務執行者社長：チエ ジュン、本社：東京都八王子市高倉町9番1号 以下キーサイト）は、CIESにおける産学共同研究プロジェクト「高性能不揮発性メモリとその評価・製造装置の開発、及び国際産学連携集積エレクトロニクス研究開発拠点の構築」が第14回産学官連携功労者表彰において内閣大臣賞を受賞したことを発表します。この共同研究プロジェクトで、キーサイトは不揮発性メモリ（MRAM）の計測システムの開発および製造をおこない、間もなく販売を開始する予定です。

CIESは高速大容量の次世代不揮発性メモリ（STT-MRAM）の実用化領域で先駆的な開発成果を挙げ、参画企業による製造装置や計測装置等の製品販売が既に始まる等世界で高い評価を受けているほか、次世代の半導体ストレージメモリとしてサンプル出荷が始まっている三次元積層（3D NAND）技術の分野等でも大きく貢献しています。

CIESセンター長 遠藤哲郎教授は、「世界トップクラスの革新的コア技術の効率的な創出とその実用化を目指していく中で、キーサイトとの共同研究によって実用化領域で先駆的な開発成果を早期に出すことができたことは、CIESが構築したオープンイノベーション型のコンソーシアムの本旨に資する活動成果であり、大変喜ばしく思っています。」と述べております。

また、キーサイトの半導体テストソリューション事業部長 山本 正樹は「東北大学のCIESとの共同研究により、今回の革新的な計測システムを開発することができました。多くのグローバル企業と共にこのコンソーシアムに参画・共創し、最先端の技術分野で、弊社の技術をいかに発揮し、産学官連携功労者表彰において名誉ある内閣総理大臣賞を受賞できたことを大変光栄に思っています。」と述べている。

### **産学官連携功労者表彰と受賞理由**

産学官連携功労者表彰とは、内閣府が中心となり、企業、大学、公的研究機関等が連携した科学技術イノベーション活動において多大な功績を収め産学官連携活動の推進への貢献した事例を称え、更なる進展に寄与した個人又は団体を表彰するものです。平成15年度から開始され、今年度で14回目となり表彰事例は累計で180件を超えています。

受賞理由：

- ・世界トップクラスのMRAM（高性能不揮発性メモリ）コア技術群の実用化拠点として内外の代表的

企業が参画する集積エレクトロニクス分野のコンソーシアムを構築した点

・産学共同研究費等による自律的な運営により設立後3年で国際的に有力な研究開発拠点としての地位を確立した点

・高速大容量の次世代不揮発性メモリー（STT-MRAM）の実用化領域で先駆的な開発成果を挙げ、参画企業による製造装置や計測装置等の製品販売が始まる等世界で高い評価を受けている点

・次世代の半導体ストレージメモリとしてサンプル出荷が始まっている三次元積層（3D NAND）技術の分野等でも大きく貢献した点

なお、第14回産学官連携功労者表彰授賞式は、2016年8月26日に東京ビックサイトにて行われます。

### **東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センターについて**

東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター（Center for Integrated Electronic Systems : CIES）は東北大学が有する多岐にわたる研究シーズと豊富な産学連携実績を求心力とし、先端ニーズを踏まえた革新的な省エネ集積エレクトロニクス技術を開発することを目的として2012年10月に新青葉山サイエンスパークに設置されました。2013年4月に竣工した研究棟には、我が国の大学において初めてとなる、産業界と互換性のある300mm対応のプロセスラインや評価分析設備が整備されています。

<http://www.cies.tohoku.ac.jp/index.html>

<p>[お問合せ先]      （センターの活動に関して）</p> <p>東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター センター長 遠藤 哲郎（教授） 電話番号：022-796-3400</p> <p>（その他の事項について）</p> <p>東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター 戦略企画部門 大嶋 洋一 支援室長 門脇 豊 TEL：022-796-3410 FAX：022-796-3432 Eメール：support-office@cies.tohoku.ac.jp</p>
--

### **キーサイト・テクノロジーについて**

キーサイト・テクノロジー（NYSE:KEYS）は、お客様のエレクトロニクス製品やシステムが、より速く・より低コストで製品化できるようお手伝いをしています。キーサイトは、世界中のさまざまなお客様に、通信、インターネット・インフラストラクチャ、航空宇宙防衛、自動車、半導体、エレクトロニクス市場で、電子信号、デザインシミュレーション、プロトタイプ検証、製造試験、ネットワーク最適化などのソリューションを提供しています。2015年度の売上高は、29億ドルでした。キーサイトについての詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.keysight.co.jp>

本件に関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

キーサイト・テクノロジー合同会社

広報担当 土肥（どひ）

TEL：042-660-8589